

2. 消防活動について。

質問 火災現場での状況把握と消火活動の適切な判断についてをお聞きします。

本年10月、他市で大きな火災が発生し、消火中、壁が崩れ、消防職員の方も怪我をされました。常に危険と背中合わせの現状ですが、現場での状況判断や、指示を出す見極めが難しいと考えられます。本市で同じような火災現場に遭遇したときに、どういった判断で行動をおこすのか、また、『火災^{ゼロ}を目指した予防対策の強化について』の内容と合わせて、本市としてのお考えをお聞かせ下さい。



回答 消防は、その施設と人員を活用して市民が安心して暮らせるよう、あらゆる災害から守ることを主たる任務としております。

火災現場での状況と消火活動の適切な判断について、活動する隊員の安全を確保し、適切な判断のもと、迅速な災害対応により慎重に努めてまいります。

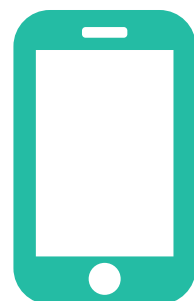
火災^{ゼロ}を目指した予防対策の強化についてでございますが、火災予防協会、婦人防火クラブ連合会、自主防災組織など関係各位と連携し、火災^{ゼロ}に対する防火防災体制の充実強化を図ってまいります。

3. 認知症に伴う、徘徊対策について。

質問 本市では、現在GPS機能を使った装置を使用していると思いますが、新たに地域で見守り活動の輪が広がる、一つの方法として考えて頂けたらと質問をさせていただきます。セーフコミュニティの協働のまちづくりとして、地域活動の必要性が求められる中、若い方の地域参加が少なく感じられます。日々の生活に追われながら、子育て、仕事等、生活基盤を守り支えていくのに忙しい日々をおくられているのが現状です。一つの方法とは、ビーコンと言う弱電波と、スマートホンを利用した、徘徊する人をさがす機能をもつ機械です。ビーコンの電波は、約20メートルしかとどかず、確実性にはかけてませんが、松原市内のスマートホンのお持ちの方に、

アプリをダウンロードをしていたらアンテナ機能となり、4キロ四方の松原市ですから、徘徊をキャッチする確実性が増してきます。子どもから大人まで、日々生活に追われている方でも、見守り活動に協力をする事となり、この事をきっかけに、若い方の地域参加や、セーフコミュニティの活動に、大きく理解の輪が広がって行く可能性があると考えられますが、市としてのお考えをお聞かせ下さい。

回答 議員のご提案通り、新たな見守り活動としての取り組みとして素晴らしいアイデアだと思います。ビーコンについて勉強をし前向きに検討してまいります。



4. 挨拶宣言のまち・松原をテーマにした取り組みについて。

質問 挨拶は、日常の生活の中でごく自然にかかわされますが、人に声をかける行動は、勇気も必要になってきます。市役所にきていただいた方々は、人生に不安を感じてきている人、また様々な相談を聞いてもらうために来ている人が大半だと思います。私たちも含め、

職員の皆さんが、来ていただいた人に、喜んで帰っていただけるよう、誠意をもって振る舞う事が、サービスの向上へとつながって行くと思います。また、こういった流れを市役所から発信し、来ていただいた市民の皆様へ、最近、市役所にいったら『明るいな～』『常に挨拶してくれるな

～』と、実感していただけたならば、かならず地域にも広がり、協働のまちづくりの輪が、広がっていく事はまちがいと考えられます。夜回り先生で有名な、水谷 修さんのメッセージの中に、声をかける大切さ、意識を外に向け、まわりに優しさをくばっていけば、人の笑顔を見る喜びを知る。また、あの友、あの人の笑顔の為に、その献身的な働きに徹する中に、人間としての本当の成長があると言われて居ります。人材の育成と協働のまちづくりを目指した取り組みとして、市民の皆様



に、認めていただけるよう、進めて頂きたいと思いますが、市としてのお考えをお聞かせ下さい。

回答 市長就任以来、職員への訓示の中で挨拶をすることの大切さを唱え、より明るい職場環境づくりを進めております。

本市は平成25年11月に、セーフコミュニティ国際認証を取得するとともに、協働によるまちづくりを進め、挨拶をする事の大切さ、また、コミュニケーションを図り、地域の活性、職員の資質向上にもつながっていると考えております。議員ご指摘の通り、挨拶宣言のまち・松原を大きくアピールしてまいります。

要望書を提出しました。

1. 行財政改革の推進
2. 新たなまちづくりの推進
3. 子育て支援の推進
4. 市民の健康の維持・増進と介護予防の推進
5. 安心・安全の街づくりの推進

点要望項目		5項目	
総務部関係	6項目	都市整備部関係	6項目
財政部関係	2項目	市民協働部関係	2項目
市民生活部関係	6項目	教育委員会関係	6項目
健康部関係	7項目	消防行政関係	7項目
福祉部関係	3項目	上下水道部関係	3項目
重点5項目		要望50項目	



本年11月14日、近鉄河内天美駅エレベーター設置に伴う供用セレモニーが行われました。公明党松原市議員団として、松原市の安心・安全のまちづくりに推進に力を入れてきましたが、特に天美駅のエレベーター設置に関しては、議会での個人質問、代表質問等、予算要望にもあげていた経緯もあり、やっと実現に至りましたが、2008年に公明党がバリアフリー新法を策定した中で、エレベーターの設置が大きく進められるようになり、また、国の補助金制度を利用した流れにより、松原市・国・近鉄で約3分の1の負担で設置できるようになりました。エレベーターの設置は言えばできるものではありません。

財源の確保や、できる仕組みを創っていくことが、公明党の力と評価の声もいただいています。今後も、公明党市議団として、安心・安全のまちづくりに、全力で取り組んでまいります。

